

花川病院

山本 恭央(理学療法士/リハビリテーション部)

- 功 績** 第74回スノーボード国体冬期大会で優勝し、第37回スノーボード全日本選手権大会で全国4位の自己最高の結果を出し、健育会グループ及び花川病院をアピールした功績
- 推 薦 者** 岡本 康世(リハビリテーション部長/リハビリテーション部)
- 推 薦 理 由** 第74回スノーボード国体冬期大会で優勝し、第37回スノーボード全日本選手権大会で全国4位の自己最高の結果を出し、健育会グループ及び花川病院を全国大会でアピールできたことをとても高く評価しています。今回の功績を称え、理事長賞にふさわしいと判断し、推薦させていただきます。

内 容

山本恭央は回復期リハビリテーション病棟に配属され、リハビリテーション部の中堅として他職種連携や後輩育成にも積極的に取り組み、組織貢献度も高い理学療法士です。健育会グループの方針である、クライアントに満足いただけるよう質の高いリハビリテーションを提供するため、日々の研鑽や疑問を解決するために臨床研究にも取り組み学会で発表するなど多方面に活躍しています。

今回、山本は第74回スノーボード国体冬期大会で優勝し、さらに第37回スノーボード全日本選手権大会において全国4位の自己最高の結果で健育会グループ及び花川病院をアピールし、次年度の全日本選手権シード権を昨年に続き連続で獲得しました。年齢は40歳代ですが、20歳代と同じ条件で全日本レベルで競技しスノーボード界のレジェンド的存在でもあります。

山本は理学療法士という身体機能のスペシャリストであり、40歳代にあった特別プログラムの自己トレーニングを業務終了後に取り組み、業務では医療専門職としての使命感が強く、患者様に寄り添いながら最適な個別リハビリテーションを提供している姿勢などは他の職員の模範となっています。

来年の全日本選手権にも出場が決定しており、優勝を目標とし、来年度もアピールできるよう取り組んでいます。